

令和5年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


社会的養護

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、社会的養護の基本理念に関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

社会的養護は、保護者の適切な養育を受けられない子どもを、( A )で社会的に保護養育するとともに、養育に困難を抱える( B )への支援を行うものであり、「子どもの( C )のために」及び「( D )で子どもを育む」を基本理念とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	地域	両親	自立	社会全体
2	地域	家庭	最善の利益	社会全体
3	公的責任	家庭	自立	地域
4	公的責任	両親	最善の利益	地域
5	公的責任	家庭	最善の利益	社会全体

問2 次の文は、「新しい社会的養育ビジョン」（平成29年8月 新たな社会的養育の在り方に関する検討会）に示された自立支援に関する記述である。適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 代替養育を経験した子どもの自立支援については、その子どもが自立生活を開始し、親になる準備期を経て親となって子どもを産み育てるまで、定期的かつ必要に応じて継続的に実施することが求められる。
- B 思春期・青年期、親になる準備期を経て、親としての妊娠出産期まで繋げていく自立支援施策は十分に整備されている。
- C 自立支援は当事者の参画と協働を基本原則とする。当事者の参画と協働は、権利行使の形態であると同時に、自己を形成し、能動的に生活を構築する能力と社会関係の形成の過程である。
- D 障害のある若者の自立支援は、本人の意向を尊重しつつ、障害者施策の積極的活用を図り、継続的に行うことも必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問3 次の文のうち、「社会的養育の推進に向けて」（令和4年3月 厚生労働省）における社会的養護の現状を示す記述として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会的養護の対象児童は約4万2千人である。
- B 社会的養護を必要とする子どもの約4割が里親に委託されている。
- C 児童養護施設入所児童の養護問題発生理由は、虐待によるものが最も多い。
- D 児童養護施設入所児童数は過去10年で増加している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問4 次の【Ⅰ群】の社会的養護の施設と【Ⅱ群】の対象者の具体例を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 児童自立支援施設
- B 児童心理治療施設
- C 母子生活支援施設
- D 自立援助ホーム

【Ⅱ群】

- ア 経済的に困窮している女子、配偶者からの暴力を受けている女子
- イ 窃盗を行った児童、浮浪・家出等の問題のある児童、性非行を行った児童
- ウ 場面緘黙、チック、不登校、集団不適應、多動性障害や広汎性発達障害の児童
- エ 義務教育終了後、他の社会的養護の措置を解除された青少年

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ウ | ア | エ |
| 3 | イ | ウ | エ | ア |
| 4 | エ | イ | ア | ウ |
| 5 | エ | ウ | ア | イ |

問5 次の文は、「一時保護ガイドラインについて」（令和4年12月 厚生労働省）に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一時保護は、子どもの安全確保やアセスメントが必要な場合に行う。
- B 一時保護を行う際に、子どもや保護者の同意を必ず得る必要がある。
- C 一時保護の期間の上限は、原則4週間と定められている。
- D 里親、児童福祉施設、医療機関等に委託一時保護をすることができる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問6 次の文は、養子縁組制度並びに特別養子縁組制度における年齢に関する記述である。  
適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 20歳に達した者は、養子縁組の養親となることができる。
- B 特別養子縁組について、25歳に達しない者は養親になることはできないが、養親となる夫婦がともに20歳以上である場合は、養親となることができる。
- C 養子縁組の離縁について、養子が15歳未満であるときは、その離縁は、養親と養子の離縁後にその養子の法定代理人となるべき者との協議により行われる。
- D 特別養子縁組で養子となる者が15歳に達している場合、特別養子縁組の成立には、実親の同意がなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問7 次の文は、「令和4年度社会的養護経験者ネットワーク形成事業」における、事業の目的に関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

児童養護施設等を退所等した者（以下「社会的養護経験者」という。）は、保護者がいない又は保護者がいる場合であっても（ A ）等の理由により、保護者からの支援を受けづらい状況にある。

そのような社会的養護経験者が、退所等した後も（ B ）な社会生活を送ることができよう、継続的な支援を充実していくことに加え、（ C ）を防ぐことが必要である。

本事業は、社会的養護経験者同士がその支援者団体等も含めて、交流を深め、意見交換及び（ D ）を行う機会等を確保することで、社会的養護経験者の孤立を防ぐとともに、社会的養護経験者が抱える課題等を把握し、適切な支援体制の整備等を行うことを目的とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	虐待	健全	自殺	政策提言
2	貧困	円滑	自殺	意見表明
3	貧困	円滑	孤立	政策提言
4	虐待	円滑	孤立	意見表明
5	貧困	健全	孤立	意見表明



問8 次の文は、「児童養護施設運営指針」（平成24年3月 厚生労働省）の「目的」の一部である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この「運営指針」は、児童養護施設における養育・支援の内容と運営に関する指針を定めるものである。社会的養護を担う児童養護施設における運営の理念や方法、手順などを社会に開示し、質の確保と向上に資するとともに、また、（ A ）責任を果たすことにもつながるものである。

この指針は、そこで暮らし、そこから巣立っていく子どもたちにとって、よりよく生きること（（ B ））を保障するものでなければならない。また社会的養護には、社会や国民の理解と支援が不可欠であるため、児童養護施設を社会に開かれたものとし、地域や社会との連携を深めていく努力が必要である。さらに、そこで暮らす子どもたちに一人一人の（ C ）を保障する取組を創出していくとともに、児童養護施設が持っている支援機能を（ D ）へ還元していく展開が求められる。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	説明	welfare	自立	地域
2	説明	welfare	発達	社会
3	説明	well-being	発達	地域
4	社会的	well-being	自立	地域
5	社会的	well-being	自立	社会

問9 次の文は、「里親制度運営要綱」（平成29年3月改正 厚生労働省）における、里親の欠格事由に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 成年後見人又は保佐人である者は、里親になることができない。
- B 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者は、里親になることができない。
- C 「児童福祉法」、「児童買春・児童ポルノ禁止法（児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律）」又は「児童福祉法施行令」第35条の5で定める福祉関係法律の規定により罰金の刑に処され、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者は、里親になることができない。
- D 児童虐待又は被措置児童等虐待を行った者、その他児童の福祉に関し著しく不適当な行為をした者は、里親になることができない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

問10 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」(昭和23年厚生省令第63号)における児童福祉施設の職員配置に関する記述である。施設に必置とされる職員として不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児院には、家庭支援専門相談員を置かなければならない。
- 2 児童養護施設には、里親支援専門相談員を置かなければならない。
- 3 児童心理治療施設には、医師を置かなければならない。
- 4 児童自立支援施設には、家庭支援専門相談員を置かなければならない。
- 5 母子生活支援施設には、少年を指導する職員を置かなければならない。